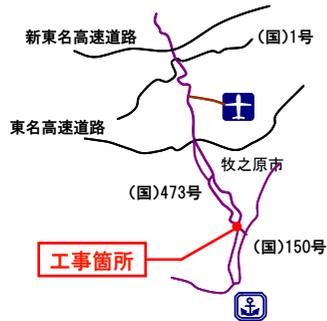


(国) 473号 (相良バイパス) 牧之原市大沢 [大沢高架橋 床版工工事]

平成23年9月

【位置図】



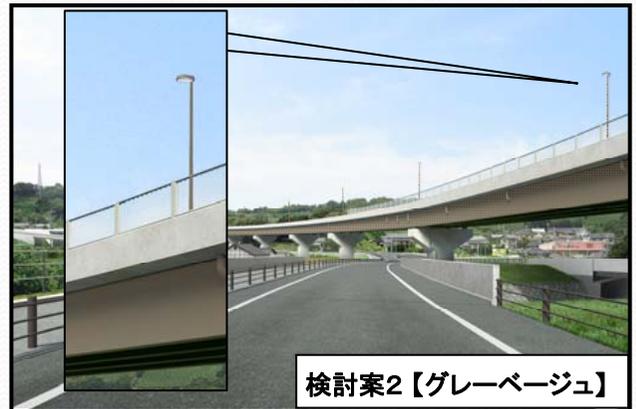
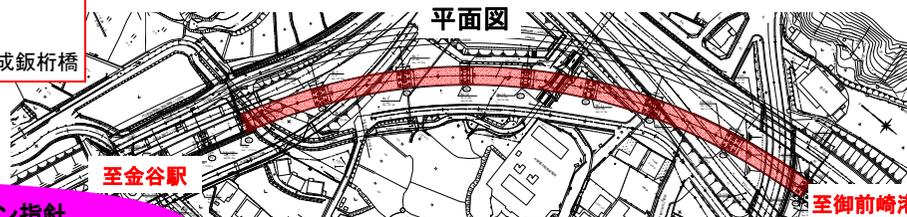
【現況】



【概要】

本路線は、金谷御前崎連絡道路相良バイパスとして、牧之原市東萩間～大沢までの10km区間を整備しています。このうち、大沢ICでは走行性向上のための立体化として、橋梁を建設しています。今回の**景観検討は道路照明柱**を対象としています。

鋼橋床版工
L=330.5m W=10.55m
PC3径間連続中空床版橋+鋼8径間連続非合成板桁橋



ふじのくに色彩・デザイン指針 《 留意事項 》

- I 照明柱の形状について配慮する
 - ・ 景観の連続性に配慮する
- II 地域の景観特性をふまえたデザインに配慮する
 - ・ 柱と灯具のバランスがとれた極力シンプルなデザインとする
- III 夜間の良好な景観を創出する
 - ・ 過剰な光が散乱しないよう配慮する
- IV 付属物の地中化に配慮する
 - ・ ケーブル等は極力地下埋設する等配慮する
- V 照明柱の色彩に配慮する
 - ・ 周辺景観と調和する色の選択に配慮する

景観検討会議結果

- ランプ部との統一性を考慮し、直線ポール型を採用
- シンプルなデザインとする
- 適度な光となる配置とする
- ケーブルは壁高欄に埋め込む
- ①道路利用者からの視認の連続性、②ランプ部の既設照明柱が亜鉛めっき色であること、③析色との調和を考慮し、『亜鉛めっき』を採用

